

平成26年度 入船小学校開校に伴う説明会の議事要旨

1 開催日時及び場所

10月18日(土) 10:30～12:00 入船北小学校学校体育館
13:30～14:45 入船南小学校学校体育館

2 出席者

<教育委員会>

教育長(午後) 部長 参事 次長2名 教育施設課長 学務課長 指導課長
保健体育安全課長 教育研究センター所長 青少年課長
教育政策課職員2名 学務課職員4名 青少年課職員2名
事務局部会委員8名(教育総務課係長 教育政策課課長補佐 教育施設課課長補佐
学務課主幹 指導課課長補佐 保健体育安全課課長補佐
生涯学習課副主幹 教育研究センター指導主事)

3 次第

- (1) 教育委員会挨拶
- (2) 新しい入船小学校について
 - ①入船小学校の概要について
 - ②学校施設等について
 - ③学校規模、教職員の配置等について
 - ④通学路の安全について
 - ⑤変更事項、暫定措置及び希望調査票等の事務手順について ※午前のみ
 - ⑥開校までのスケジュールについて ※午前のみ
 - ⑦児童育成クラブ・放課後異年齢児交流促進事業について
- (3) 質疑応答

4 資料

- ・入船小学校の概要について
- ・暫定通学路図
- ・通学区域変更事項、暫定措置及び希望調査票等について ※午前のみ
- ・浦安市児童育成クラブについて
- ・入船小学校放課後異年齢児交流促進事業について
- ・入船小学校に関するQ&A

5 会議経過(概要)

○新しい入船小学校についての説明については、次第のとおり資料に沿って教育委員会

から説明を行った。

○質疑応答では以下のような質問があった。

<午前中>

Q 1 : 入船小学校についての質問はどちらにしたらよいのか？

A 1 : 教育委員会にご連絡ください。就学に関しては学務課、教育政策課で対応します。

Q 2 : 美浜北小学校の説明会はあるのか？

A 2 : 美浜北小学校の説明会は予定していません。

Q 3 : 入船小学校を設置する条例案について、7月10日の教育委員会で審議していると思うが、なぜ非公開なのか。

その根拠の法令と理由を教えてください。

A 3 : 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の中に、委員の3分の2以上の多数で議決した時は、これを公開しないことができるという法律があります。また、「浦安市教育委員会会議規則」の非公開にする案件の中には、市議会の議案となっているものについては非公開にするという規定があり、今回はこれに基づいて非公開としました。

Q 4 : 小学校休業日、代休日の児童育成クラブの開所時間の繰り上げについて、考えているのか？

A 4 : 年度途中から時間を早くするというのは厳しいと思います。子育て支援ということを考えると保育園との連携という視点も必要になります。今後はもう少し早くするための方法を、現場との調整や運営事業者、予算との関係を整理しながら検討を進めていきたいと考えています。

Q 5 : 入船北児童育成クラブは、父母会で負担をして長期休業日と代休日は、7時半から開所している。現在入船南の方と話し合いをしているところだが、入船北の保護者の負担が非常に大きくなる。救済措置として、暫定的に美浜北と入船の新しい児童育成クラブについてのみ7時半に開所していただけないか。

A 5 : 児童育成クラブは18小学校すべてで設置されています。普段の開所時間は学校が終わってから夜7時まで。土曜日や夏休み、あるいは学校の休業日については朝8時から夜7時までとなっています。市としては、現在のところ朝8時からという基本的なところは変わっていません。ただし、入船北の育成クラブについては保護者と運営している受託事業者との関係で朝7時半からとなっています。この部分については入船北の保護者と運営事業者との別契約にあたるものと認識しています。これについての救済をとということですが、朝の開所時間は、現在では8時からとなっていますとしか言えません。もしも同じような形で希望するというのであれば、運営事業者と保護者との話し合いにな

ります。運営時間については検討していますが、変更するならば、美浜北と入船だけでなく全市的に対応しなくてはならないと考えています。

Q 6 : 美浜北小学校を選択した時に、そのまま美浜中学校へ進学するという選択はできるのか？

A 6 : 入船在住の方については、入船中学区への進学が原則です。しかし、美浜中学校はこれまで小規模学校選択制度の中に入っていますので、進学時に募集があれば、希望して進学することが可能です。

Q 7 : 通学路の入船中央交差点に警備員が2名いるということだが、今後も通学・下校の時間帯に警備員を置くという対応はずっと続いていくか。

A 7 : 毎年通学路の安全点検を行っており、その中で、交通安全上配慮が必要な箇所を確認しています。入船中央交差点については交通整理員が2名、通学時間7時20分から8時20分、午後は下校時のおおむね午後2時から4時に配置されています。美浜北小学校の方も浦安警察署前交差点に、同じような対策を想定しています。

Q 8 : シンボルロードの方は歩道橋を設置するなどの大掛かりな通学路の安全対策は今後の予定にもないということか？

A 8 : 歩道橋の設置については、市の道路局とも話をしましたが、すぐ隣接した個所にすでに歩道橋が設置されていますので、今のところは予定していません。

Q 9 : 入船小学校の異年齢児交流促進事業をいずれは全市にというお話があったが、段階的にいつまでという予定はあるのか。

A 9 : 来年度から5ヶ年の子育て支援策を策定していますので、平成31年度までには全校に設置していきたいと思います。学校の教育活動に支障がないように、余裕教室のあるところから順次整備をしていきたいと思います。美浜北小学校については児童推計を把握しながら、余裕教室が確保できれば学校現場や教育委員会と検討をしながら早く開設するようにしたいと思います。

Q 10 : 入船小学校に予算付けがされているが、アンケートの結果、美浜北小学校に行きたいという子どもたちが多かったら、美浜北小学校に予算付けされるのか。

A 10 : 予算付けについては、大規模改修がありますので、それに合わせた形で入船小学校につけています。美浜北小学校については、児童数が増えてくる状況であれば当然教室の整備をすることになります。大規模改修は一気にできないので順番にやっていくということになります。

Q 11 : 兄弟が別々の学校になることを避けるため認めますとあるが、上の子が卒業したら下

の子は認めないということになるのか？

A 1 1 : 兄弟が別々の学校に行くということを避けるために配慮していますので、卒業してしまう場合は、基本的に通常の学区どおりになります。しかし、特別な事情がある方の場合は、学務課で相談を受けています。もし、それにあたるようであればご相談いただければと思います。

Q 1 2 : 特別な理由というのは何か？子どもたちの気持ちを考えると、子どもに対しての説明会は行われているのか？通学も遠くなるが、どのように考えているか。

A 1 2 : 特別な理由については、一律に基準を設けているわけではありません。その都度ご相談に応じています。今まで認めていますのは兄弟がばらばらの学校に行く場合、転居をした場合、心身の障がい等の事情などで、それぞれに判断して認めています。子どもたちへの説明は、交流を進めていく中で話がなされていると思います。また、通学についてですが、通学距離の基準は国で定められています。統合ということで今回学区が少し広がりますが、基準の中にはおさまっていると考えています。

Q 1 3 : 美浜北小学校を希望したら、全員受け入れてもらえるのか？美浜北小学校の教員の異動はどうなるのか？

A 1 3 : 仮に全員が希望しても美浜北小学校で受け入れます。教員の配置は、市内全体のバランスを考慮して行います。

<午後>

Q 1 : 児童数は577人を予測しているということだが、美浜北小学校の方が近いように思うが入船北小学校から何人位が来るのか？

A 1 : 577名は入船北小学校から在籍児童全てが来た場合です。入船北小学校の児童は美浜北小学校への通学も認めています。希望調査を月曜日に配布する予定であり、人数は、後日取りまとめてご報告します。現在は予測できかねている状況です。

Q 2 : 今後入船北小学校の施設はどのように利用するのか。

A 2 : 子どもの心情を考え、子どもが入船北小学校に在籍している段階では検討はしないということにしています。

Q 3 : 児童育成クラブについて、運営事業者が切り替わるタイミングと決定の時期を教えてください。

A 3 : これから運営事業者の審査会を行い、12月に決定し、契約は4月からとなります。運営事業者が変わった場合、引き継ぎ期間は2か月程度と考えています。現在の入船南小学校の運営事業者に決定されれば、引継ぎ期間は必要ないと考えています。

Q 4 : 放課後異年齢児交流促進事業について、存在自体を知らない保護者もいると思うので、児童育成クラブ入会受付期間終了の1月10日の前までに文書を配布していただきたい。入船南小学校にはなかったので、放課後異年齢児交流促進事業があればそちらにしたいと考える保護者もいるかもしれない。

A 4 : ご希望に沿うように、できるだけ早く配布するようにします。

Q 5 : 小中学校をつなぐ渡り廊下ができると、間の通路はどうなるのか？

A 5 : 工事前は市道で歩行者専用道路でしたが、現在は市道を廃止し学校の用地となっています。今のところ通行を止めることはありませんが、その先は、現段階では決まっていません。渡り廊下とはクロスしますが、門扉を設けて不審者に対応します。

Q 6 : 美浜南小学校と美浜北小学校の統合はあるのか？

A 6 : 美浜地区については現在、児童数の推移を見守っているところです。

Q 7 : 現在不審者の問題もあり、危ないということが言われているが、市として放課後異年齢児交流促進事業については全部の学校に増やしていくことを考えているのか。児童育成クラブも5, 6年の入会に関しては一切ないと思うが、子どもたちの行き場がないことについて、市としてどう考えているのか。

A 7 : 子ども・子育て会議において、放課後の子どもの居場所づくりについても検討しています。平成27年度から平成31年度までの「子ども総合支援計画」を作っているところで、少なくとも平成31年度までに何らかの形で放課後異年齢児交流促進事業を全小学校で行っていきたいと考えています。学校の余裕教室を使用して実施していますが、全ての学校に余裕教室があるわけではないので、学校の余裕教室や児童数の推移をみて進めていきたいと思えます。入船小学校については次年度から実施します。

Q 8 : 本日の資料は来ていない保護者にも配布されるのか？

A 8 : 学校より提供いただいた名簿でチェックをしています。本日欠席の保護者には後程配布します。

Q 9 : 入船北小学校は児童育成クラブが別の場所にある。放課後異年齢児交流促進事業は校舎内にある。入船小学校では両方が同じ敷地内にある。どちらに入るか区別に迷うこともあるのではないかと。どのような区別になるのか。

A 9 : 両者は似ているようでまるで違います。

児童育成クラブは、保護者が昼間就労で家にいない家庭にかわる生活の場です。

平日は夜7時まで預かっています。土曜日や長期休業中は朝8時から夜7時まで預か

り、保護者の就労等に対応しています。おやつも出る生活の場で、光熱費やおやつ等の経費として各家庭から5千円徴収し、児童育成クラブ内で使われています。放課後異年齢児交流促進事業は、放課後の居場所づくり、安全・安心に遊べる場所を提供するものです。子どもは一度帰ってから参加します。時間は普段は午後5時までで、土曜日や長期休業中は午前10時から午後5時までです。働いている保護者には難しいですが、送り出せる保護者にとっては良いと思います。おやつ等も出ないので、基本的には無料です。

Q10 : 入船6丁目に住んでいるが、子どもが保育園に通っていて3年後に子どもが小学校に入る。美浜北小学校と入船小学校は選べるか。

A10 : 今回の選択は、基本的には現在入船北小学校に在籍している児童のみの選択です。美浜北小学校に兄弟関係があれば学区外として認めています。

Q11 : 暫定措置について、11月4日までに調査票を提出となっているが、具体的な日程が示されたのは今回が初めて。わずか2週間の間に選択しなければならずあまりにも急ではないか。もう少し早めに知らせるか、もう少し日程をとることができないのか。

A11 : 調査票は学級数の把握と教職員の配置がかかわっており、日程を延ばすことはできません。11月中旬に一度結果をお返ししますので、その後結果をもとに変更することは可能です。12月12日には決定し就学通知書を配布します。

Q12 : 入船小学校は学区外を受け入れるのか。

A12 : 小規模選択制にはなっていますが、入船小学校でも何か事情があれば学区外を受け入れます。

Q13 : 小中連携・一貫教育で小学校にとっていろいろとメリットがあるのはわかったが、中学校のメリットは。

A13 : 小中連携によって中1ギャップが軽減されています。知っている先生がいると、安心して学ぶことができます。さらに、中学生が小学生とかかわることで、優しくなるということもあります。

Q14 : 入船地区の児童・生徒数をもっと減るとすごく不安。現在幼稚園の子がいるが、これから活気が出てくる何かをほしい。何かないのか。

A14 : 活気が出るように、魅力ある学校づくりを今後も進めていきます。また、入船中学校については、次年度から小規模学校選択制になります。

Q15 : 間に合うようであれば入船小学校を小規模学校選択制に入れてほしい。

A15：学区の小学校として、18学級規模の学校にしようということで適正化を図ってきました。入船北小学校から何人の児童が入船小を希望するかはわかりませんが、入船北小学校の子どもたちが全員希望したことを想定して整備をしてきましたので、現段階では他の地区から受け入れるとは言えません。

<教育長あいさつ>

浦安市で初めての学校統合、入船小学校の開校となります。現在まで地域と保護者と議論を重ねて、困難な問題もありながら、今回説明会が開催できたことをうれしく思います。

浦安市では小中連携・一貫教育を進めていますが、その礎はこれまで生徒指導や体験活動など健全育成を通して地域の皆様と学校が進めてきたことがあり、この時期に小中連携・一貫教育をスタートできたと思っています。

入船中学校区は、小中連携・一貫教育を市内で先行的に取り組める環境づくりを進めています。教育内容についても日々、入船の3校の教職員が、各校の特色や浦安市教育ビジョンなど、これからめざす教育についてスタートできるように、積極的に知恵を出し合い、心を寄せ合って計画してくれています。保護者の皆様もPTA役員が中心になって、交流や連携を進めてくださっていることに感謝申し上げます。私たちも、地域、学校、家庭、行政が一体となって、子どもたちの豊かな学び、環境づくりに一層尽力していきたいと思えます。

活発な議論をいただき、ありがとうございました。参考にさせていただきます。